



# 電子薬歴システム等の取得及びアルフレッサ社との提携について

株式会社メドレー  
2025年1月23日

## ディスクレイマー

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としております。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。

## 電子薬歴 の取得 (子会社化)

- **アクシスルートホールディングス社の発行済株式100%の取得**
  - 株式譲渡契約に基づき、大株主から76.7%取得し、少数株主のスクイーズアウト後に株式交換にてアルフレッサ社へ当社自己株式を交付し、完全子会社化（P.9）
- **主なスケジュール**
  - 株式譲渡契約及び株式交換契約の締結日：2025年1月23日
  - 株式譲渡契約（子会社化）の効力発生日：2025年1月31日（予定）
  - 株式交換契約（完全子会社化）の効力発生日：2025年4月30日（予定）
- **株式価値（100%ベース）：8,000百万円**
  - 株式交換を考慮した現金支出総額は7,407百万円であり、手元現預金及び借入による充当を予定
  - 当社の第三者算定機関による株式価値算定の結果の範囲内
  - 機動的な成長投資が継続可能な財務基盤を維持
  - 2025年12月期業績への影響：2025年4月よりPL連結開始予定。影響額は精査中

## 業務資本 提携

- **医薬品卸大手のアルフレッサ社との業務資本提携契約を締結**
  - アクシスルートホールディングス社の株主・協業パートナーであるアルフレッサ社と業務資本提携契約を締結し、医療ヘルスケア領域のデジタル活用を加速
- **業務提携**
  - 当社が取得する電子薬歴Medixsの拡販に向けた連携
  - その他、両社プロダクトや新規DXプロダクトの開発販売連携
- **資本提携**
  - 上記の株式交換により、当社株式0.5%を所有

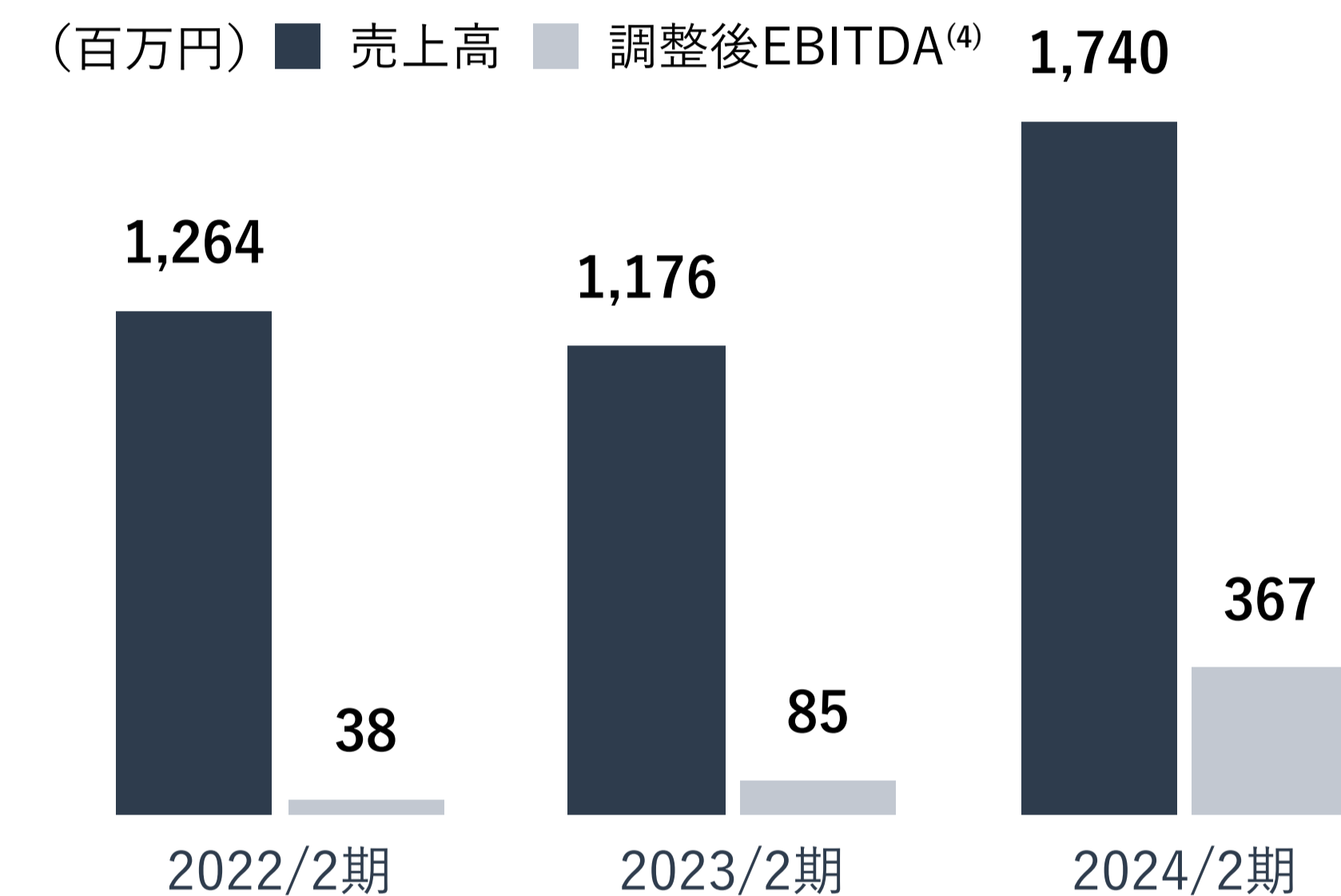
(1) 新株予約権の目的となる株式を含む

2008年に設立されたアクシスルートホールディングス社は調剤薬局向け電子薬歴Medixs等を開発・提供<sup>(1)</sup>しています。Medixsは日本初のクラウド型電子薬歴であり、優れたUI/UX等を背景に契約継続率99%<sup>(2)</sup>の高い顧客満足度を誇っています。

## 基本情報

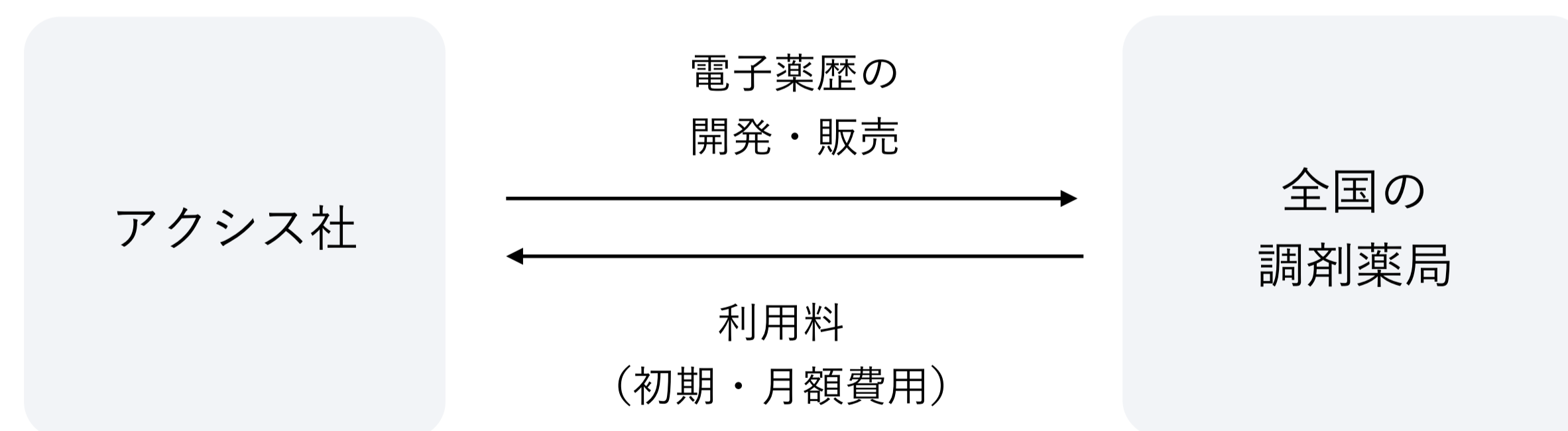
設立時期	2008年4月
連結従業員数	127名（2024年10月）
事業内容 （事業子会社）	アクシス社 - 電子薬歴「Medixs」等 アクシスイノベーション社 - 医療案件をはじめとした受託開発

## 連結業績



Medixs稼働店舗数  
**2,960**店舗<sup>(5)</sup>

## 電子薬歴「Medixs」のビジネスモデル



- 主要顧客：地域チェーン・個人店
- ストック売上：5割以上<sup>(3)</sup>
- 年間解約率：1.9%<sup>(3)</sup>（主な解約理由は閉局）

## 競争優位性

- |        |   |
|--------|---|
| UI/UX  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 薬剤師を含む自社開発チームが設計・開発</li> <li>• 現場の声を反映した「使いやすい薬歴」と高評価</li> </ul>   |
| 在宅支援機能 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 高齢化に伴い増加している訪問調剤ニーズに対応</li> <li>- クラウド型のため、訪問先での記録作成が容易</li> </ul> |
| 低コスト   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 同一店舗内で、端末数の増加に関する追加費用が発生しない料金体系</li> </ul>                         |

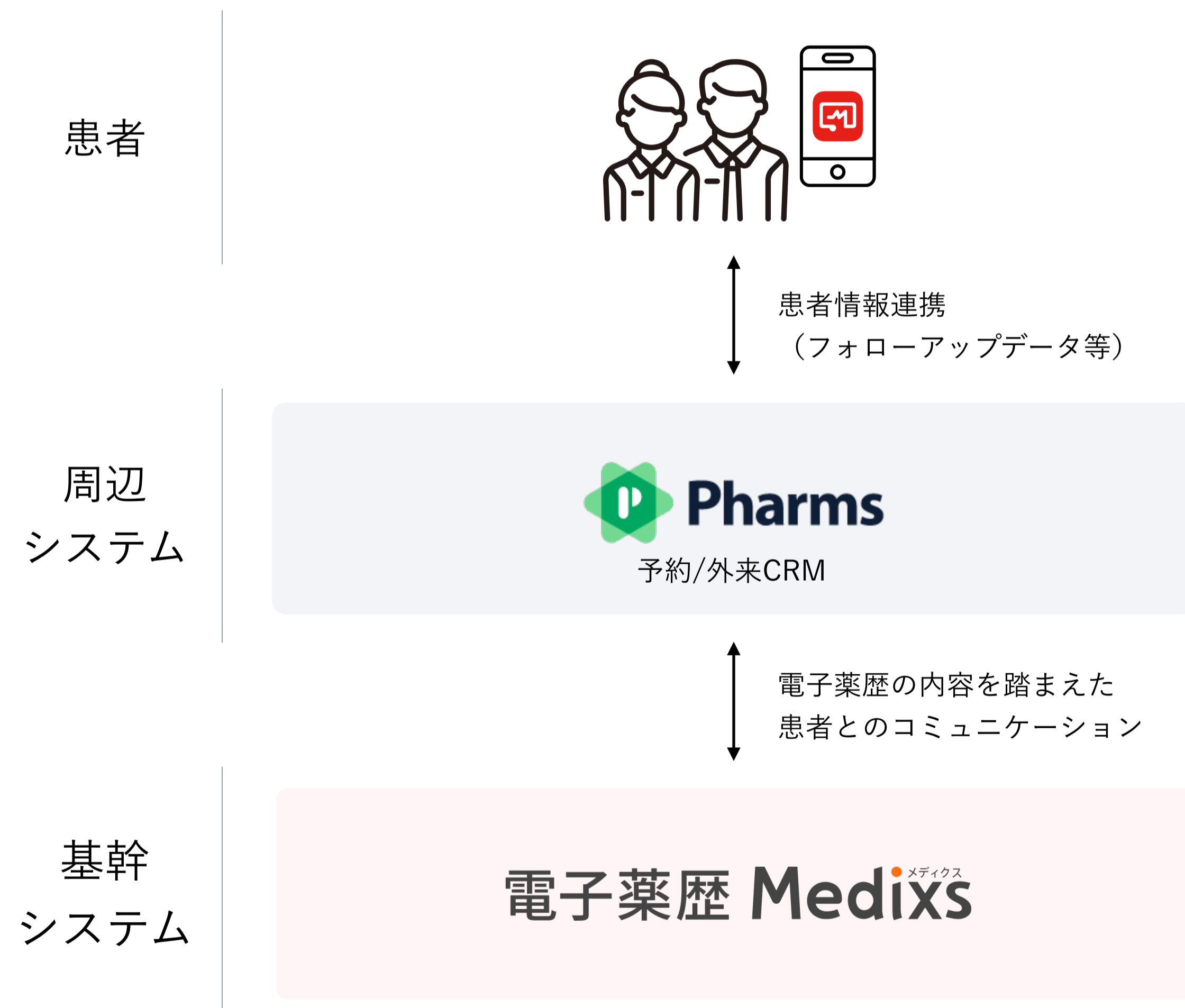
(1) アクシスルートホールディングス社傘下の100%子会社アクシス社が開発・提供  
 (2) アクシスルートホールディングス社公表値  
 (3) 2024/2期実績値。ストック売上はMedixs全体売上に占める月額利用料の割合

(4) デューデリジェンスの結果を踏まえ、本件実施後に発生しないことが見込まれる上場準備費用を調整した値  
 (5) 2024年11月末時点

# 本件の目的（子会社化・アルフレッサ社との提携）

服薬状況等の患者情報を有する電子薬歴Medixsと患者接点の強いPharmsが連携することで、業務効率化のほか、患者との繋がりを大幅に強化できます。また医薬品卸大手のアルフレッサ社と提携し、Medixsの普及に向けた連携を行うことに加え、両社の様々なプロダクトの連携を進めていきます。

## 電子薬歴Medixsの取得



## アルフレッサ社との業務資本提携



**薬局向けDXソリューションの開発・販売**  
Medixsの販売促進に向けた連携  
その他薬局向けDX製品群の企画・開発・販売等

+

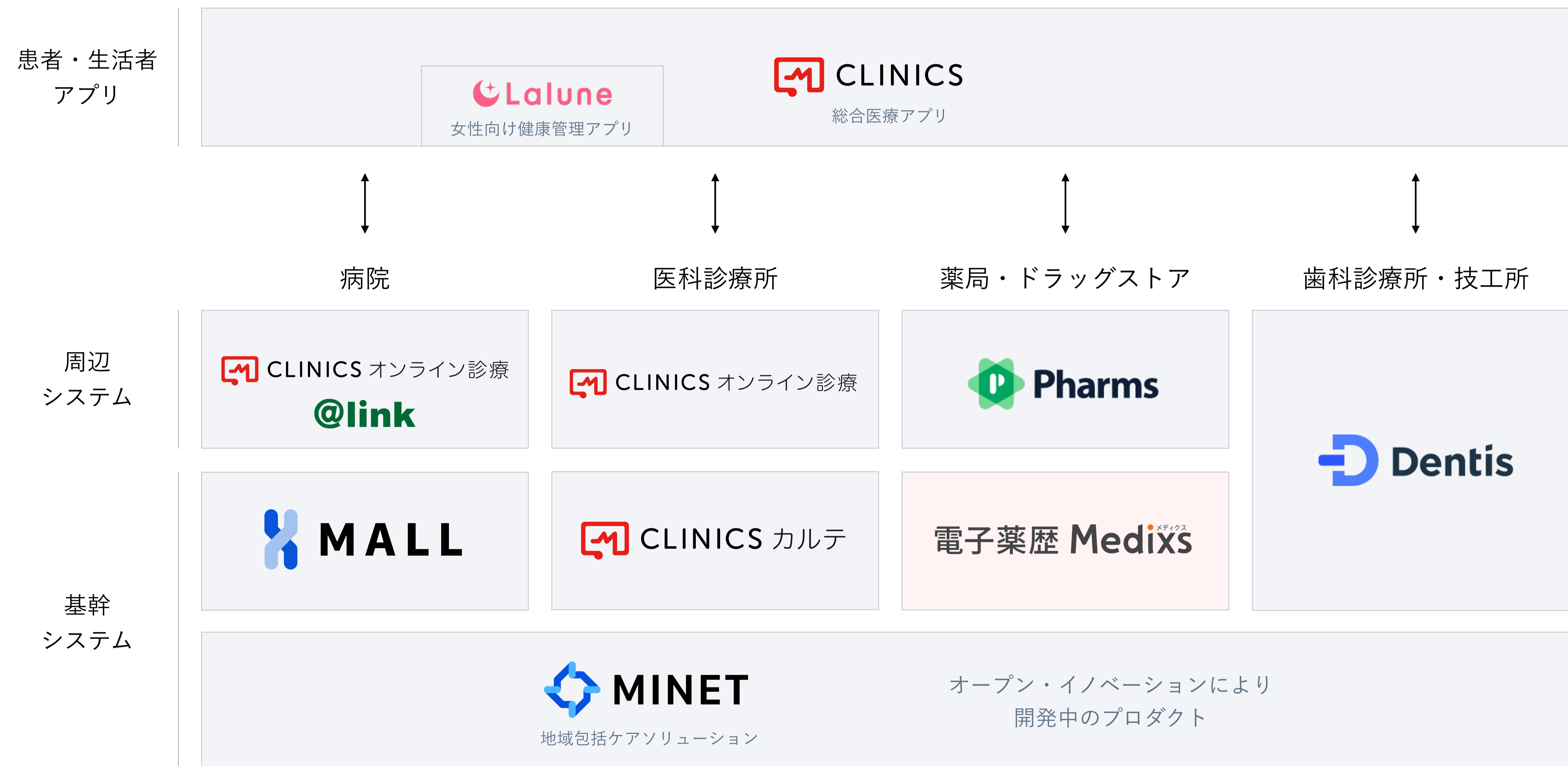
**両社の病院・診療所向けプロダクトにおける連携**

+

**その他医療・ヘルスケア領域におけるDXソリューションの連携**

# 本件M&Aの医療PFにおける位置付け

今般のM&Aにより、基幹システムの電子薬歴・レセコンが加わることで、当社の薬局・ドラッグストア領域における事業拡大が大きく加速します。今後、MedixsとPharmsを一体的に提供していくことに加え、他領域システムとの連携についても検討していきます。

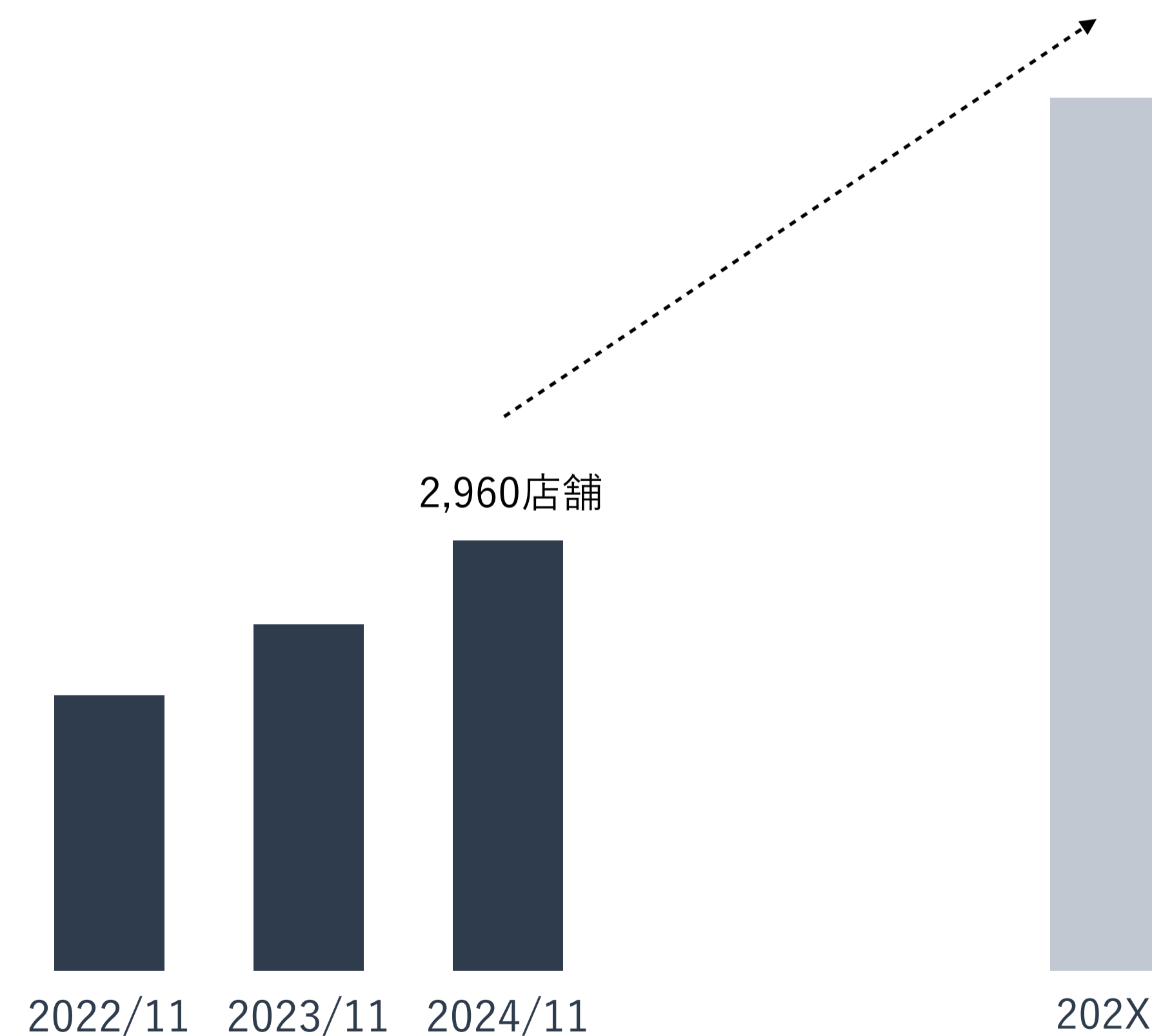


当社の基本戦略は、「顧客事業所数の最大化及びARPUの改善」です。現状、調剤領域において提供してきたPharmsはARPUに大幅な改善点があり、Medixsは顧客事業所数に改善点があるため、強い相互補完関係にあります。投資回収期間は、シナジーを考慮していない保守的な計画において、税引後ベースで10年程度を見込んでいます。

## 顧客事業所数の最大化

### Medixs販売体制の大幅な強化

- メドレーとの協働による直販体制の強化、業務資本提携先のアルフレッサとの販売促進、その他代理店との取引強化を実施予定



## ARPUの改善

### PharmsのARPUの改善

全国約62,000店舗

大手チェーン

地域チェーン  
個人店

電子薬歴 Medixs  
約3,000店舗

Pharms

約14,000店舗

現在Pharms顧客のうち  
約400店舗（約3%）のみ  
Medixs利用

### 今後のプロダクトラインナップの拡大

- 2025年中に、クラウド型レセコンをリリース予定
  - 現在、試験運転中
  - 電子薬歴とレセコンをクラウド型で一体提供可能な企業は僅少
- レセコンの他、新規プロダクトも開発中

# 本件M&A実施後も、機動的な成長投資が継続可能な財務基盤を維持

本件M&A資金は手元現預金及び借入（50億円）による充当を予定しており、本件後の想定BSは以下のようになります。引き続き、機動的な成長投資が継続可能です。なお、本件M&Aの実行により、のれんが純資産を一時的に上回りますが、FY25中には再び純資産が超過する見通しです。

## 本件実施後の当社想定連結BS

単位：百万円

当社連結BS (2024年9月末時点)

現預金 18,760	有利子負債 12,589
	その他負債 8,741
のれん 13,579	純資産 19,795
その他資産 8,786	

AXR社の連結BS (2024年8月末時点)

	有利子負債 172
現預金616	純資産 686

本件直後の当社連結想定BS

現預金 16,968	有利子負債 17,761
のれん <sup>(2)</sup> 21,857 [うち本件に係るのれん：8,058]	その他負債 10,138
その他資産 9,100	純資産 20,026

▶  
本件M&A資金7,407百万円のうち5,000百万円を借入で充当した場合<sup>(1)</sup>

自己資本比率：40.2%、D/Eレシオ：0.8x

(1) 最大50億円の借入を実施することは本日の取締役会で決議されていますが、借入額及び時期は最終確定していません。

(2) 本件に係るのれんの数値は、取得原価の配分確定前の数値



本件M&Aを契機として、アルフレッサ社との提携を進めてまいります。そのため、アクシスルートホールディングス社の株主のうちアルフレッサ社のみ、対価を現金ではなく株式交換による当社株式（自己株式）とする方式を選択しております。

略称：アクシスルートホールディングス社=AXR社



(1) 上図のAXR社株式の保有比率は発行済み株式数及び新株予約権の目的となる株式数の合計から、自己株式を控除した株式数をもとに算出  
 上図の「個人株主」の保有比率は、個人株主及び従業員持ち株会の合計値  
 上図は、スクイズアウトに際してアルフレッサ社保有分に端数株式が生じない場合を記載

<p>1 FY25の当社連結業績への貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2025年1月31日付で、アクシスルートホールディングス社は当社の連結子会社となる予定です。PL連結開始は、同年4月を予定しております。</li> <li>FY25の当社連結業績への影響は、収益認識基準の適用後の具体的な影響額を踏まえ、公表いたします。</li> </ul>
<p>2 本件M&amp;A対価の妥当性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受領した事業計画やインタビューを通じて当社が精査・調整を行った将来予測計画をもとに、第三者機関がDCF法にて算定した結果の範囲内であり、妥当であると判断しております。 - DCFレンジ：71.0億円～82.3億円</li> <li>またP.5に記載のとおり、本件により調剤薬局領域において、基幹システムと周辺システムを備えることになり、今後、シナジーによる顧客提供価値の拡大については財務的リターンが見込まれます。</li> </ul>
<p>3 減損リスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記2のとおり、適正価格での株式取得に加え、Medixs事業はストック売上比率・継続率が高いため、減損リスクはコントロール可能と考えております。今後、更なる減損リスクの低減（事業計画の着実な達成）に向け、クロージング後、速やかにアクシスルートホールディングス社の協力のもと、PMI（シナジー創出プロセス）を実施する予定です。</li> </ul>
<p>4 投資回収期間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>投資回収期間は、シナジーを考慮していない保守的な計画において、税引後ベースで10年程度を見込んでおります。シナジー創出状況によっては、投資回収のさらなる早期化が期待できます。</li> </ul>
<p>5 EPS（1株あたり利益）への影響</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本件M&amp;Aに伴うのれん償却費の負担を考慮した場合、短期的にはEPSへの影響はありますが、中長期的には想定されるシナジーに伴う利益成長を背景にポジティブと想定しております。具体的なのれん償却費負担額は、クロージング後、取得原価を配分する会計手続き（PPA）を経て、確定する予定です。</li> </ul>
<p>6 本件M&amp;A資金 （株式譲受け+スクイーズアウト）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年9月末時点で、当社は手元現預金187億円を有していますが、本件M&amp;A以外に、今後の成長投資の機会の際に機動的に実施できるよう、手元現預金及び借入により充当する予定です。</li> <li>なお、本件M&amp;Aに起因したエクイティ・ファイナンスの実施は、現時点では計画しておりません。</li> </ul>

<p>7 PMI期間の機関運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社代表取締役社長CEOの瀧口が、2025年1月31日付でアクシスルートホールディングス社の代表取締役社長に就任し、PMIをリードします。その他複数名の当社役職員が同社役員に参画します。</li> </ul>
<p>8 組織</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーポレート機能は一体的な組織運営を目指し、事業組織については事業シナジー発揮に向けて、PharmsチームがMedixsチームに合流します。</li> <li>人事制度や各種規程類は両社の優れた部分を活かして統合し、アクシスグループの従業員の雇用条件は維持・改善を目指します。</li> </ul>
<p>9 電子薬歴Medixs事業の事業方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行サービスを維持し、Pharmsとの連携により、拡大する方針です。</li> <li>開示セグメントは、連結後に医療PF事業セグメントに加える方針です。</li> </ul>
<p>10 受託開発事業の事業方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受託開発事業を展開するアクシスイノベーション社においては、当社の潜在的な開発プロジェクトにも参画いただくことを考えております。</li> <li>開示セグメントは、連結後に医療PF事業セグメントに加える方針です。</li> </ul>
<p>11 アルフレッサ社との提携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>P.5に記載のとおり、Medixs事業の拡大に向けた協業のみならず、医療ヘルスケア領域において幅広く協働してまいります。</li> <li>具体的な協業内容につきましては、1月31日のアクシスルートホールディングス社のグループジョイン後に、検討・協議を開始する予定です。</li> </ul>



医療ヘルスケアの未来をつくる